



第7回定例会

9月11日から9月15日の5日間を会期として開催し、報告3件、教育委員会委員の任命1件、規約変更・条例改正2件、補正予算6件、各会計歳入歳出決算認定7件、意見案2件、発議1件の合計22件の議案が提案され、原案のとおり可決しました。一般質問は、山本議員、國部議員、白幡議員の3名が行い、会期を2日残し閉会しました。

行政報告

- ◆ 町立国保病院院長の退職
〈詳細は次ページ〉
- ◆ 特別養護老人ホーム友愛苑の今後〈詳細は次ページ〉
- ◆ 令和5年度普通交付税等の決定
- ◆ 北海道中学校体育大会及び第43回全日本バレーボール小学生大会の出場結果

報告

- ◆ 令和4年度健全化判断比率の報告
- ◆ 令和4年度資金不足比率の報告

◆ 教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書（令和4年度対象）

審議事項

- ◆ 教育委員会委員の任命
・山本大樹氏（本町4）の任命に同意した。
- ◆ 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更
- ◆ 子ども医療福祉に関する条例の一部改正

主な補正予算

【一般会計】

- ◆ 遠別町名誉町民・前議会議長お別れの会実行委員会補助金 123万円減
- ◆ 町有地分筆測量業務委託料 493万円新規
- ◆ 遠別光ネットワーク設備設置業務委託料 300万円増
- ◆ 次世代多目的交流センター費修繕料 40万円増
- ◆ 不妊治療費等助成金 49万1千円新規
- ◆ 町立診療所建設工事 9,663万5千円増
- ◆ 町立診療所廃棄物庫設置工事 260万円削除

- ◆ 災害復旧工事測量設計業務委託料 400万円新規
- ◆ 町道啓明東6線（東6号橋）災害復旧工事 1,500万円新規

意見案

- ◆ ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
提出者 國部議員
賛成者 山本議員、白井議員
 - ◆ 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
提出者 國部議員
賛成者 山本議員、白井議員
- 意見案は、9月13日の議会定例会で採択され、国の関係機関に送付した。





URL :
<http://www.town.embetsu.hokkaido.jp/docs/2023080700019/>

議会会議録の公開について

議会会議録をホームページで公開しておりますのでお知らせいたします。

令和5年5月に開催された第3回遠別町議会臨時会から見る事ができます。

今後、議会や決算審査特別委員会、予算審査特別委員会の開催後、会議録が作成でき次第、公開してまいります。

会議録のホームページのURL及びQRコードは次のとおりです。

第7回定例会

町立国保病院院長の退職

齊ノ内院長が10月23日付をもって退職されることになり、診療につきましましては、9月28日までとなります。このことから、診療体制を大幅に変更することとなります。

10月からの診療体制につきましては、既に双方システムにより周知しておりますが、後任の医師は未定のため、北海道地域医療振興財団からの非常勤医師による、毎週火曜日から木曜日までの午前中の内科外来診療のみとなります。また、常勤医師が不在となることにより、救急車の搬送受け入れの停止、入院患者の受け入れ停止、午後からの診療や土日祝祭日及び夜間の急患対応につきましても停止することになります。

当面の間、町民の皆様へは大変ご迷惑をおかけいたしますけれども、現在、常勤医師確保に向け北海道地域医療振興財団や

町長からの行政報告（抜粋）

全国自治体病院協議会などの公的機関及び民間の医師紹介会社に間断なく働きかけを行っており、来年4月1日からの診療所の業務開始に向けて、1日も早い常勤医師の確保に尽力しておりますので、ご理解のほどをよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム友愛苑の今後について

特別養護老人ホーム友愛苑を運営しております、社会福祉法人湯らん福祉会理事長が8月25日に来庁いたし「近い将来、事業から撤退する意向がある」との申出がありましたのでご報告をいたします。

撤退の理由としましては「介護人材の確保が困難であること」「将来における人口減少に伴いニーズが減少し、経営が厳しくなる見通しであること」との説明がありました。

撤退の時期につきましては「事業継承する事業者が定まっておらず、現に入所されている

方への責任があることから明言できない」としたものの「近い将来のうち」との表現であります。

法人としては、友愛苑職員に対し、既に理事長が直接口頭で説明を済ませており、入所者・家族への説明につきましましては、文書により説明するとの報告を受けております。

本年3月のユニット型個室の休止に続き、このような報告となり、入所者・家族をはじめ町民の皆様、友愛苑職員の皆様には不安が広がるものと想定されますが、引き続き、湯らん福祉会との協議を進めながら、本町の高齢者福祉の中核である友愛苑の存続に向け、新たな展開を模索するなど早期に方向性を見出したいと考えております。ご理解をいただきたいと思います。

山本議員

問 公共施設の男性用トイレにサニタリーボックスを設置しては？

笹川町長

答 公共施設の男子用トイレに早期に設置したい。

インターネット上のアンケートでは、70代以上の62%の男性が尿漏れの経験があると言われており、尿漏れのパッドを使用している男性の7割近くが、男性用個室トイレにサニタリーボックスがなくて困った経験があると答えている。



問

男性用個室トイレにサニタリーボックスを設置する動きが自治体や商業施設に広がっている。男性の尿漏れの原因として大半を占めるのは前立腺肥大で、特に前立腺がんや膀胱がんは男性がんで最も多くなっていることから、今後ますますその数が増えていくと言われている。また、疾病によるもののほか、加齢によって尿漏れパッドが必要な方もいる。

答

疾病や加齢による尿漏れに苦勞する男性も多く、

公共施設の男性用個室にサニタリーボックスを設置する動きは全国的に進んできている。

現在まで本町において、認知症や寝たきりの高齢者を除き、男性の尿漏れに関する困りごとの相談は無いが、個人の尊厳に関わる他人に話にくいことであると理解をしている。

町内の主な公共の場におけるサニタリーボックスの設置状況は、指定管理者が運営している「道の駅えんべつ富士見」については、令和2年の開設当初から男性用個室及び多目的トイレに設置済みであり、さらに「旭

温泉」については、浴室トイレに設置済みとなっている。また、「役場」及び「アクティブシニア多世代拠点交流センター」においては、男女兼用の多目的トイレに設置済みで、「生涯学習センター」「スポーツセンター」「屋内多目的グラウンドゲートボール場」には、現在設置されていない。

男性用個室に設置されていない施設も多いことから、公共施設には早期の設置、指定管理による施設には設置の依頼をした。今後、誰もが快適に過ごせるように配慮し、外出することを喜べる環境を整えたいと考えている。

問

道の駅富士見は町外からの人たちが多く来ることから、トイレの入り口、ドアのところ、トイレ内の3箇所に、サニタリーボックスがあるという掲示があれば助かると考える。

再質問



役場に設置されているサニタリーボックス

答

また、環境のイメージを高めるためにも、快適な環境づくりのためにも、ホームページに載せるべきと考えるが、町長の考えを伺う。

設置がどこまで視認できるか、不便に感じてる方が目視できるかについては、これから研究をしていきたい。

なかなか本人自身も手を挙げて言える問題ではないので、そこも配慮しながら進めたい。ホームページに掲載することについても、周知は図っていき

國部議員 **問** 公共施設へ防犯カメラを設置しては？／男女共同参画条例を策定すべきでは？

笹川町長 **答** 新設の公共施設には設置する。／第7期総合計画において必要事項を定めたい。



問 ① 町内における公設の防犯カメラの設置状況と管理方法を伺う。

民間の設置を促進するため、ほかの自治体が実施しているような助成事業を導入する考えはないか。

② 現在議場の出席者は全て男性であり、当町では女性が議員になった例はなく、過去に委員長での女性の出席があるのみとなっている。近隣町村と比較しても、極端に少ない。男性だけでなく、女性も含めたオール遠別のような体制でまちづくりに取り組む必要がある。町全体の雰囲気醸成するため男女共同参画条例を策定すべきではないか。

男女共に働きやすい職場住みやすい自治体というイメージを発信することができるよう役場内においては旧姓使用を求める規則策定の検討をしたらどうか。

答

① 町内における公設の防犯カメラは現在設置していないが、今後、建設する公共施設については、地域の安全と防犯、犯罪防止のため、防犯カメラを設置することとしている。

防犯カメラ設置に対する助成事業については、自らの生活安全の確保や防犯上必要となるものであり、民間の設置を促進するため町として現在助成する考えはない。

② 第7期の遠別町総合計画において必要事項を定め、男女共同参画に対する取り組みを進めたい。

「旧姓使用を認める規則」については、職員組合などと協議をしながら必要であれば要綱等の制定の検討をしていきたい。

再質問

問

① 新設の施設だけではなく、既存の公共施設へも設置を進めるべきではないか。また、防犯や交通安全などのために、必要な場所を警察などと協議して設置を進める考えはないか。こうした設置によって個人情報などの観点から管理運用方

法の見直しなども併せて伺う。

② 第7期総合計画は、令和8年度からの取り組みとなるため条例や個別計画などできることから始めるべきではないか。

旧姓使用を認める規則に関して今現在の職員が必要を感じていなくても、将来的に役場に就職を考えている人に対して判断材料なりえることから再度答弁いただきたい。

答

① 新設施設だけでなく、防犯や交通安全などのために、道路なり公園なりということだが、この管理についても、かなり微妙になってくると思う。現状の人的資源の状況の中で、監視カメラを常時監視することは難しい。何かの形で業務監視をするためのカメラというような形が出てくれば別であるが、公園、道路については難しい一面があり、今後どういことが一番いいか、効果的なのか検討させていただきたい。

既存施設となると、指定管理者が用意した、例えば道の駅とかとなり、運用は、指定管理を受注した業者になり、何かあったと

きには警察に協力するというような形になると思う。積極的に防犯カメラ、監視カメラ、業務監視カメラを設置する考えは今のところない。

今建設している診療所の中等についても制約があり、監視カメラのようなものは置かなければいけない形になっている。それについては運用させていただく。

② まちづくりに取り組もうという意欲的な女性が出てきた段階においては、芽を摘まないよう、我々男性側がフォロー、協力をするという形ができればいいと、その象徴として共同参画の要綱や取り決めというふうに取り組んでいる。

旧姓使用だが、全体の理解がどこまで出来るかが、大きな前提になると思う。最初の答弁で、職員組合との協議も話をした。結婚したからには、どちらかの性を名乗るわけで、旧姓を使ってもいいとなるか、ならないか、詰めていかなければいけない問題だと思ふ。

白幡議員

問 新築住宅に対する助成の実施は？／移住対策の新たな支援策は？

笹川町長

答 住宅新築価格高騰のため状況を注視したい。／必要な支援策があれば適時対応したい。



問

遠別町も少子高齢化に伴って人口減少、人口流出などが進み、町内会の活動が成り立たなくなつたなどの声を町民の方から伺っている。あらゆる物の物価高騰を受け、日常生活をする上で町民の負担が大きくなっている。

そのような中、今年度町内で6件の一般新築住宅の申請があり、住宅を新築し、町内に定住し頑張っていく姿は、素晴らしいことだと思つている。

町でも住宅リフォーム助成事業、結婚・出産祝い金など移住・定住に向けた事業をしているが、人口減少に歯止めがかからない。

大型事業が続く中、町財政も厳しいと思うが、定住促進及び地域経済活性化を図るためにも新たな支援策が必要と考え、次の2点を伺う。

①人口流出に歯止めをかけ、過疎化減少を抑える観点から、過去に行つていた一般住宅新築に対する助成の考えはないか。

②令和4年3月の移住対策の質問で、起業化支援事業、新規就農対策、結婚・出産祝い金、移住定住の確保、医療費の無料化など様々な支援事業を行つており、追加支援策は考えてないと答弁だが、今後新たな施策を進める考えはないか。

答

本町の住宅支援は、平成6年度から10年間、人口流出による過疎化現象を抑え、町民の定住化を図り、豊かで住みよいまちづくりを寄与することを目的に住宅の新築や増築への助成、平成21年度から3年間、町民の安全と安心を確保し、環境整備等の推進に資することを目的に危険老朽空き家の除去への助成、平成24年度から現在まで快適な住環境の整備と定住促進を図ることを目的に住宅リフォームへの助成を行っている。

①今後も既存住宅の利活用を推進するために、住宅リフォーム事業は、令和8年度まで継続し

たいと考えており、住宅新築に対する助成は、住宅新築の戸数も限られていることなどから、現在考えていないが、昨今、物価高騰や住宅の高性能・省エネ化に伴い、住宅新築の価格が高騰しているため、今後の状況を注視したい。

②移住・定住対策の追加支援だが、本町では企業化支援事業を始め、現在も様々な移住・定住対策事業を行っている。令和4年3月の一般質問にて、現段階では追加支援を考えていないと答えているが、時代の流れや社会情勢の変化により、必要な支援策があれば、適時、対応していきたいと考えていることには変わりはない。今年度から結婚・出産祝い金の内容を見直すなど、より良い対策となるよう検討している。物価高騰など情勢の変化がないとは言わないが、今すぐに追加支援策を打ち出すものはない。

再質問

問

①第6期総合計画にも空き家対策に関わる費用の助成等も盛り込まれている。このような助成も必要かと思う。し

かしながら、費用対効果などを考えると、新築に対する助成も必要だと思う。町をPRする観点からも助成できないか。

答

空き家対策の助成だが、どの町にも老朽化して手のつけられない住宅があるのは理解いただけないと思うし、わが町の場合、国道沿いにそういう住宅が多く見られ、町のイメージとして芳しくない。そこで難しい問題があるが、地主と建て主が違う、若しくは、家主、後継者なりが相続を放棄したというそういう問題を先に手をつけないわけにはいかない。

①新築住宅も、リフォームと並列してやることは、これは考えていかなければならない。令和8年度でリフォーム事業の区切りをつけたらというような考え方を答弁をした。それと絡めながら、どういった形がいいか、住み続けていただくためにどうしたらいいか考えていかないといけないことであり、あまり時間をかけないで結論を出していきたい。

【一般会計（歳出）】

― 総務費 ―

移住交流事業について

問

都市部からの移住定住に繋げるため、東京での北海道フェアに参加し、22名の相談者の中で移住希望者は何名いたのか。

答

22名の中にはつきり移住と答えた方はいないが、2、3名の方は興味をもっていた。

― 民生費 ―

緊急通報システムの周知について

問

通報システムは、ベルを押して札幌にいくという内容も理解できないという方も聞く。通報システムは本当に貴重で、知らない人もおり、何か周知する形をとれないか。

答

民生委員や社協のヘルパーを中心に事業周知をしてきたが、今まで以上に皆さんにお分かりいただけるように周知活動を続けていきたい。

【一般会計（歳入）】

公営住宅の空き部屋対策は？

問

現状、使用可能な空き部屋の数は？

答

9月12日現在、空いている戸数が17戸となっている。

問

空き部屋対策として所得制限等あると思うがこれを見直すつもりはあるか。

例えば、見なし特公賃として扱うなど、そういった対策はあるのか。

答

対策としては、1点目が随時募集を今年から始めている。あわせて、今後、見なし特公賃を追加で使いたいと考えている。所得制限は現在のところ考えていない。



まちづくり応援寄附金の減収対策

問 前年度比に対して、大幅に減収となった要因は？

答

大きな理由として、遠別高校の商品というところも考えられる。あとは、商品数も十分な確保はできないところも、大きな要因かというところで、全国的に見ると、寄附額総体は上がってるようだが、遠別町は、下がってる状況。個人のことなので分析は難しいが、1,000人程度、去年、一昨年と同じ方が寄附されてる中で、そのほかの方が大きく減っている。

問

町も危機感があると思うが、今後の増進に向けた対策は？

答

今年度予算については、広告費、少ない予算で効果的なことをというところで、1件のサイトに掲載と全国版のじゃらんに掲載。以前サイトを増やして対策してきた中で、今

― 簡易水道特別会計（総括） ―

公営企業会計適用に伴う

町民への影響は？

問

令和6年度から企業会計へ移行するという事聞いてるが、ルールなのでしょうがないとは思いますが、水道料金など町民に与える影響等が、そういった部分であったら、メリット、デメリット含めてお教えていただきたい。

答

基本的には、会計上の資産管理が整理できるというのがメリットになる。今回の企業会計の適用に伴い、水道料金を見直して資産というか会計で、歳入歳出イコールにするというような考えは今のところないので、町民に対する影響というのは特にはない。

総務産業常任委員会 町内所管事務調査

9月15日に総務産業常任委員会町内所管事務調査が行われ、午前中には現地調査活動として、妻沼牧場、作況状況、野球場、診療所、旧とんがりかんの5箇所を調査し、午後からは議会審議の参考に資するため、担当者への事情聴取が行われた。

現地での調査活動



診療所建設及び開所に向けた進捗の状況（本町）

鉄筋コンクリート造3階建て、建築面積863.33㎡、延床面積が1,859.54㎡。

現在の工事の進捗状況は、躯体コンクリートの打設が完了し、内外装の作業が進められ、令和6年4月の診療所の開所に向け、工事が進んでいる。



旧とんがりかんの改修工事進捗及び運営予定の状況（富士見）

工事の進捗状況は、改修部分の撤去がほぼ完了し、今後の天候等の関係から塔屋部分の整備を先行して行っている。

令和6年4月の開設に向け、工事が進んでいる。

事情聴取

（1）特別養護老人ホーム「友愛苑」の現状について

「友愛苑」は、町立の老人ホームとして開設し、平成19年度に湯らん福祉会が指定管理者となり、平成22年に建物を無償譲渡、完全民営化として現在に至る。

令和4年度に北海道及び町から補助を受けて外壁改修工事を行ったが、令和5年3月末で、職員の確保困難が主な理由でユニット型入所を休止。

また、職員に対し理事長が将来的に友愛苑の運営から撤退したい旨の話がされたとの事であり、町長からは、継承して運営する事業者を責任を持って探していただきたいと申し入れており、湯らん福祉会では継承事業者を探している。議会としては、今後の状況を把握しながら町と一体となり、特別養護老人ホームの存続に向けての進捗状況等を当委員会の継続調査課題とした。

（2）遠別町立国保病院救急対応等について

令和5年9月議会定例会において、遠別町立国保病院の院長退職の行政報告を受けた。常勤医師が不在となるため、入院病棟の停止及び救急患者の受入れができなくなる。

10月からの診療は、毎週火曜日から木曜日の診療を、派遣医師により行い、早急に常勤医が確保できるよう関係機関に当たっている状況である。

入院患者は、9月28日までに転院できるよう進めており、救急車の対応は、道立羽幌病院及び天塩町立国保病院で受け入れいただけるよう調整済みである。10月からの診療及び救急対応について、全戸配布で周知するよう要請。

建設中の町立診療所開所には、常勤医確保が絶対条件であり、常勤医の確保状況を当委員会の継続調査課題とした。

第8回臨時会

10月27日の1日間を会期として開催し、報告1件、補正予算4件の合計5件の議案が提案され、原案のとおり可決し閉会しました。

行政報告

- ◆町立国保病院医師の採用
〈詳細は下段〉
- ◆第21回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会出場

報告

- ◆総務産業常任委員会町内所管事務調査報告

主な補正予算

- 【一般会計】
- ◆福祉灯油等購入助成金 435万円新規
- ◆スポーツ少年団全道大会出場補助金 66万6千円増

【国保病院事業会計】

- ◆医師対策費 382万8千円増

主な補正予算への質疑

【一般会計】

福祉灯油等購入助成金について

問 昨年度申請していない人はいたか。

答 申請されていない方がいた。

問 申請の仕方がわからないとか、どういう方法で周知し、何名申請していない方がいたか。

答 お知らせ広報やIPなどで周知している。ほかに、情報の届きにくい方には、社会福祉協会のヘルパーや、民生委員にお願いし声かけをしている。昨年度申請されていない方は、概ね50人から60人程度。



町長からの行政報告（抜粋）

第8回臨時会

町立国保病院 医師の採用について

令和5年11月1日付で、町立国保病院の会計年度任用院長として、坂東裕基医師を採用いたします。

坂東医師は、香川県出身の46歳の内科医師であり、平成18年に香川大学医学部を卒業し、大阪医療センター、屋久島徳洲会病院、東京警察病院、JＲ東京総合病院などの勤務を経験されており、任用期間につきましては、令和6年3月31日まででございます。

11月からの診療体制につきましては、総合内科専門医として、主に内科の診療業務を行う予定となっているほか、現在外来診療を行っている北海道地域医療振興財団の出張医につきましても、引き続き派遣をさせていただきます。診療体制の強化及び医師の負担軽減を図ってまいります。

また、これまで救急車の受入れにつきましても、停止などの制限により町民の皆様へは大変ご迷惑をおかけしておりましたが、これらについても解除となり、ほぼ従前の診療体制に戻ることになります。

また、来年度の常勤医の採用につきましても、40代の医師が4月から内定しており、令和6年4月からの採用予定であります。今後も医師2人体制の確保を目指し、町民の皆様への安定した診療が提供できるように尽力をしてまいりますので、ご理解のほどをよろしくお願いいたします。



議会広報研修会

8月17日、議会広報研修会が札幌市で行われ、議会報発行特別委員会から委員2名が参加しました。

一般社団法人自治体広報広聴研究所 代表理事・広報アドバイザーの金井茂樹氏による「伝わる議会報の編集ポイント」と題し、レイアウトや見やすさなど広報委員として役立つ情報を学びました。



議会広報研修会の様子

留萌管内町村議会議員研修会

8月29日、留萌管内町村議会議員研修会が羽幌町にて開催されました。本研修会は、コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度開催以降、4年ぶりに開催され、当町からは議員8名と事務局職員2名が参加しました。

研修会では「人が輝き、まちが輝く！〜SDGs 未来都市・しもかわの挑戦」と題して、前下川町長 谷 一之氏の講演が行われ、参加者は熱心に耳を傾けておりました。



講師 谷 一之氏

留萌管内町村議会議長会表彰

6月15日、留萌管内町村議会議長会総会で、自治功労者「町村議会議員」として12年以上在職」として柏谷美春前議員と大石幸夫議員が表彰されました。

表彰状の伝達については、柏谷美春前議員には7月31日に自宅へ訪問し、小森議長より伝達し、大石議員には9月11日の議会定例会開会前に小森議長より伝達を行いました。



表彰状を受け取る大石議員

東京遠別会総会及び偲ぶ会

10月7日、東京遠別会（高橋二三次会長）の総会が東京都で開催されました。

当議会からは小森議長、白井議員、山下議員の3名が出席し、町からは笹川町長ほか町職員2名が出席しました。

同会の総会は、台風やコロナウイルス感染症の影響もあり、4年間中止しており、その間、同会の西島秀雄前会長が令和3年3月に逝去され、総会後に長年にわたり同会の運営に貢献されたことをたたえ、偲ぶ会が開催されました。



東京遠別会総会時の様子

議会の主な動き（令和5年8月～令和5年10月）

8月	
17～18日	議会広報研修会（札幌市）
19日	遠別町戦没者・功労者追悼式
28日	第6回議会全員協議会 第3回議会運営委員会
29日	留萌管内町村議会議員研修会（羽幌町）
31日	日本学校農業クラブ北海道連盟第43回全道意見発表大会

9月	
2日	留萌自衛隊及び稚内地方協力本部稚内地域事務所親睦パークゴルフ大会
11～13日	第7回遠別町議会（定例会）
12日	令和4年度遠別町各会計決算審査特別委員会
14日	遠別町敬老会
15日	総務産業常任委員会町内所管事務調査（現地調査及び事情聴取）

10月	
6～8日	東京遠別会総会及び及び会（東京都）
12日	第5回議会報発行特別委員会
19日	第7回議会全員協議会
25～26日	総務産業常任委員会道内所管事務調査（三笠市、南幌町）
27日	第8回遠別町議会（臨時会）
30日	第6回議会報発行特別委員会

議員出席状況

令和5年8月1日～令和5年10月31日

区分 議員名	定例会・臨時会						常任委員会等			特別委員会			合計			出席率 (%) ⑥/⑤	
	開催日数 ①	出席内容			出席日数計 ②	欠席内容			総務産業 3	議会運営 1	全員協議会 2	議会報発行 2	決算審査 1	開催日数合計 ①+③ ⑤	出席日数合計 ②+④ ⑥		欠席日数合計 ⑦
		全日出席	遅刻	早退		慶弔	病欠	その他									
		全日出席	遅刻	早退		出席計 ④	慶弔	病欠									
小森 嘉孝	3	3			3				7	7		7		10	10	0	100.0%
橋本 初昭	3	3			3				6	6		6		9	9	0	100.0%
大石 幸夫	3	3			3				6	6		6		9	9	0	100.0%
白井 金治	3	3			3				9	9		9		12	12	0	100.0%
山本 仁美	3	3			3				7	7		7		10	10	0	100.0%
白幡 広喜	3	3			3				8	8		8		11	11	0	100.0%
山下 悟	3	3			3				8	8		8		11	11	0	100.0%
國部 雅人	3	3			3				9	9		9		12	12	0	100.0%

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は**12月11日頃**の開催予定です。

【お問い合わせ】
議会事務局
電話 7-2147（直通）

詳しくはテレビ電話でご確認ください。

メール gikai@town.embetsu.hokkaido.jp



あとかき（白幡委員）

今年の夏の暑さは、連日のように猛暑日、真夏日とよく耳にする機会が多くなっていました。今年も世界中で異常気象として色々な災害など発生しているなか、わが町に於いても海水温の上昇に伴う生態系の影響また、農作物等の生育への影響など危惧するところが年々増加していることから地球温暖化現象だと思う。

地球温暖化をとめるには、温室効果ガスの排出削減が急務であり各自治体や企業の努力だけでなく一人一人が取り組むことにより削減できる。

今後、温暖化現象が進まないことを願いたい。

発行：遠別町議会
編集：議会報発行特別委員会
委員長 山下 悟
副委員長 白井 金治
委員 白幡 広喜
委員 國部 雅人